小中連携で取り組む協同学習

藤本嘉弘(福岡市立席田中学校)

キーワード:小中連携,活用力,協同学習

1 席田中学校ブロック小中連携教育研究会

昭和52年度に設立された席田(ましろだ)中学校ブロック「同和」教育研究会は、席田 中学校区4校(1中3小)の全職員が参加し、38年の歴史をもつ。平成23年度「小中連携 教育研究会」と改称し、平成24年度からは「学力保証部」(現在、学習指導部、学力向上 部)が中心となり、席田中学校ブロックの3小学校(席田小学校、月隈小学校、東月隈小 学校)が中学校に先駆けて、協同学習についての研修・実践を進めてきた。

2 本校の校内研修

「活用力を育てる学習指導のあり方~協同学習を取り入れた指導方法の工夫を通して~」 (1)社会的な状況から

新学習指導要領(平成24年度完全実施)や新しいふくおかの教育計画後期実施計画(平 成26年度)では、「思考力、判断力、表現力」を基盤とした「活用力」の育成をめざす指 導の充実が課題となっている。

3 研究構想図

協同学習を授業の基盤に据えた研究構想 図を全職員の参加のもと作成した。なお. 目指す生徒像は「授業の中で協同学習に取 り組み、基礎的・基本的な知識・技能を習 得し、課題を解決する過程で知識・技能を 活かして、活用力(思考力・判断力・表現 力)を高めていく生徒」である。

校内研修のテーマを「活用力」の育成と した際(平成26年度)に、小学校が取り 組んでいる協同学習を取り入れ、校内の教 員が協力しながら、生徒一人ひとりの学習 意欲を高め、活用力を育てる授業づくりを 試みている。

目指す生徒像 授業の中で協同学習に取り組み、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、課題を解決する 過程で習得した知識・技能を活かして、活用力(思考力・判断力・表現力)を高めていく生徒 【学習過程】 【手立て】 活用力 まとめる 全体 (思考力・判断力・表現力) 確かめる ガルーフ または 基礎・基本的な 調べる 知識•技能 つかむ 個人 課題 協同学習

4 研究の進め方・内容

(1) 小中連携で取り組む協同学習

平成24年度、席田中学校ブロックの学力向上部において、協同学習についての提案 があり、小中合同の研修会(年4回)や小学校の実際の授業を参観することを通して、

協同学習の考え方と実践方法を学んできた。

①席田中学校公開授業·第一回総会

席田中学校公開授業は、協同学習を取り入れた授業を全クラス公開し、小学校の先生 方に参観して頂いた。第一回総会では、「活動性の高い授業づくり」と題し、須藤 文 先生(久留米大学)から講演をして頂いた。演習を交えながら協同学習の基本的な考え 方や手法、LTD 話し合い学習法等について研修を深めた。

②夏期研修会

全体会で協同学習による授業づくりのチェックポイントについてプレゼンを行った。 教科別研修会では、活用力の育成を目指し、協同学習を取り入れた小・中学校の学習指 導案を持ち寄り、小・中学校の教員が一緒になって、活用力や協同学習について意見交 流を行った。

- (2) 席田中学校において
- ①校内研修会において、下記の内容について研修を進めた。
- ・活用力 ・協同学習(基本的な考え方,技法,授業の展開, 協同学習グッズ【掲示物、ホワイトボード、生徒マニュアル、タイマー】 など)
- ②校内公開授業
- ・各教科研究テーマ検証授業【1学期】 ・席田中学校ブロック公開授業【6月29日(月)】
- ・福岡市教育委員会校内研究推進事業 公開授業・協議会【10月16日(金)】

5 研究の結果

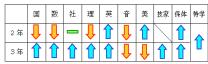
(1)生徒の学力状況 (平成26年度との比較)

①標準学力テスト 合計 国 数 社 理 英

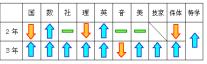
②標準字刀アスト					思	ぎ・判断・表現の観点別部
	囯	数	社	理	英	
2年	1	_		1		

(2)授業アンケートの結果 (平成26年度との比較)

○課題を理解し、今までの学習を生かして、自分 の考えや意見をもつことができる。○友だちに自分の考えを伝えたり、友だちの考えを 聞いたりして、自分の見方や考え方を広げたり、 深めたりすることができる。







DXX-2276/7 0													
	囯	数	社	理	英	音	美	技家	保体	特学			
2年	Î	î	Î	î	_	î	Î		Î	♠			
3年	1	1	Î	Î	Î	1	Î	1	1				